

平成 2 5 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成 2 5 年 1 0 月 8 日 (火) 19 : 10 ~ 21 : 15

[場所] 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

[参加者]15 名 : 足立源樹 (那覇市立病院)、垣花真紀子 (沖縄県立宮古病院)、笹良剛史 (南部病院)、伊藤昌徳 (ハートライフ病院)、喜納美津男 (きなクリニック)、増田昌人 (琉大病院)、屋良尚美 (代理 : 沖縄県立中部病院)、島袋恭子 (那覇市立病院)、大湾勤子 (国立病院機構沖縄病院)、尾崎信弘 (沖縄県立八重山病院)、宮川真一 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)、親泊美香 (ちばなクリニック)、福地 泉 (アドベンチストメディカルセンター) 棚原陽子 (琉大病院)、笠原大吾 (福寿薬局)

[欠席者]2 名 : 栗山登至 (琉大病院)、友利健彦 (北部地区医師会病院)、

[陪席者]1 名 : 安里千恵美、(琉大病院)、

<報告事項>

今回も、Skyp を使用して会議を行った。

1. 「平成 2 5 年度第 2 回及び臨時の沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」議事要旨について
伊藤副部長より、平成 2 5 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨が報告された。
2. 部会委員の新規加入について
伊藤副部長より資料 2 に基づき、新たな部会員として笠原大吾氏が加入することが報告された。
3. 緩和ケア研修会実施について (琉大病院・那覇市立病院)
資料 3 に基づき、それぞれの病院から報告された。
増田委員より、琉大病院主催では医師 1 5 名・コメディカル 1 0 名が修了した。研修会はトラブルなく終えた。足立委員より、那覇市立主催では医師 2 0 名・コメディカル 7 名が修了した。
琉大も那覇市立もファシリテータ人選に困っており今後の課題である。
4. 緩和ケア推進検討会について
資料 4 に基づき増田委員より、厚生労働省の中に緩和ケア推進検討会が設置されており、第二次中間取りまとめ報告書が公開されているので内容を確認してほしいとの報告があった。
5. がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会について
伊藤副部長より資料 5 に基づき、講習会開催について報告された。
1 0 月 2 0 日 (日) 14 : 00 ~ 17 : 00 沖縄県医師会館ホールにて行われる。

6. 沖縄県在宅医療人材育成・質の向上センター発足について

増田委員より、第三次地域医療再生基金からの予算配分で在宅医療人材育成・質の向上センターを発足させることが報告された。事業内容は、①研修会開催（在宅医療従事者向け）と在宅医療従事者の人材育成（医師以外のスタッフの派遣研修事業）②除痛率の分析 ③Q I（Quality Indicator）を使用した医療の質の評価の3本柱である。在宅医療人材育成については、今年度中に検討委員会を発足し、派遣対象者の人選や派遣先について答申してもらう予定であることが報告された。

7. 緩和ケア研修会主催者病院を増やす事について

笹良部会長より、指導者研修会修了者が在籍する浦添総合・沖縄赤十字・南部徳洲会・中頭病院へ、主催者病院の呼びかけを行う案があるが、これから4カ所の病院へ連絡を入れる事が報告された。

8. 在宅緩和地域連携パスの運用の進捗状況について

笹良部会長より、資料6に基づきフォーマットや運用方法を策定中である事が報告された。試験的に、那覇市立病院・きなクリニック・訪問看護ステーション大名の3カ所で運用し、その後に評価と見直しを行い、来年度には、全ての施設で運用できるようにしたい。

協議事項：

1. 除痛率調査の今後の進め方について

笹良部会長より、資料8に基づき進捗状況が報告された。

青森県立中央病院のSPARCS方式に合わせて、現在、調査フォーマットを棚原委員に作成してもらっているところである。増田委員より、笹良部会長と棚原委員で原案を早めに作成してほしいと依頼された。

2. 部会へ患者関係者を入れる事について

増田委員より、沖縄県がん診療連携協議会の場で「当初は各部会へ患者関係者が入っていたが、現在は、なぜ入っていないのか」という意見があったので、部会に患者関係者をいれる事について協議をお願いしたいとの説明があった。年に1～2回（事業計画策定と評価（報告））の時に参加してもらう案で協議された。人選については、10月末までに委員の皆様より推薦を待ち、推薦がなければ、患者会へ推薦依頼する事となった。

3. 緩和ケア・フォローアップ研修会の開催日程とプログラムについて

笹良部会長より、来年3月中に開催を計画していることが報告された。

日程は3月9日（日）沖縄県医師会館大ホールで開催予定となった。

講師の人選や研修会内容については、笹良部会長と栗山委員で決めてもらう事となった。

その他

1. 宮川委員より、来年から1年間大阪の病院へ勤務する事となり挨拶があった。

2. 伊藤副部長より、10月5日（土）にハートライフ病院でコメディカル対象に緩和ケア研修会のモジュールを使用し勉強会を開催したと報告があった。講師は医師・薬剤師・MSWが担当した。参加者数は、看護師15名・OT1名・ST1名・MSWで反応は良かった。増田委員より、報告書を作成するよう依頼があった。

3. 伊藤委副部長より、別紙資料を基に、「沖縄県病院薬剤師会 緩和ケア分科会」の活動内容の報告

があった。

4. 笹良部会長より、喜納委員とホスピス在宅研究会のメンバーで「ていあんだの会」を作り、介護や医療者等の多職種が集まりディスカッションを行う「ケア・カフェ」を9月末に開催した事と今後にも開催する予定である事が報告された。